

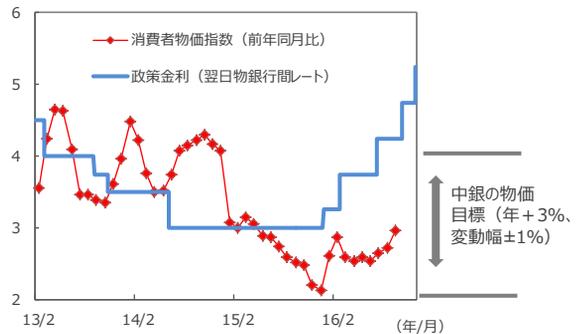
今日のトピック メキシコの金融政策（2016年11月）

政策金利引き上げ：トランプ次期米大統領の政策に注目

**ポイント1 政策金利を0.5%引き上げ
今年4回目の利上げ**

- メキシコ銀行（中央銀行、以下中銀）は17日、政策金利（翌日物銀行間レート）を0.50%引き上げ、5.25%とすることを決定しました。利上げは市場予想の範囲内でした。ただし、米大統領選挙でトランプ氏が勝利した後、メキシコペソが過去最安値を更新していたことから、0.75%の利上げを予想する市場関係者もいました。
- 通貨安への歯止めを狙った中銀の利上げは、2月、6月、9月に続き、今年4回目です。

【政策金利と消費者物価指数】



(注) 政策金利は2013年2月1日～2016年11月17日。
消費者物価指数は2013年2月～2016年10月。
(出所) Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 通貨安警戒姿勢を継続
今後も利上げ継続の見込み**

- 中銀は声明文で、世界経済の変動の高まりに加え、米大統領選挙の結果がメキシコと米国の2国間の関係に影響するとし、国内経済を取り巻く環境がかなり不確実になっているとリスクを指摘しました。
- 中銀は、インフレ目標（3%）の達成に向けて、今後も必要な対応を取るとしており、ペソの動きや米国の政策を注視しながら、状況に応じて利上げを行うと見られます。

【メキシコペソ】



(注1) データ期間は2015年2月1日～2016年11月17日。
(注2) (ペソ/米ドル) は逆メモリ。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 ペソ相場は落ち着きどころを探る展開

- 米大統領選後、トランプ次期米大統領の保護主義的な政策が米国との経済関係の深いメキシコに多大な損失を与えるとの見方が広がり、ペソは11日、過去最安値を更新しました。中銀は17日、通貨防衛のため利上げを行いました。ペソは前日比で約1%下落して引けました。市場では、0.75%の利上げを予想する向きもあっただけに、ペソの下落につながった模様です。ペソは、トランプ次期米大統領の通商政策や財政政策をにらみながら、当面落ち着きどころを探る展開が見込まれます。

ここもチェック! 2016年10月20日 **ブラジルの金融政策（2016年10月）**
2016年 9月30日 **メキシコの金融政策（2016年9月）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。